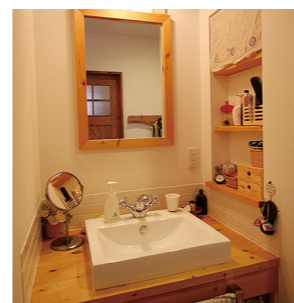




自分に合ったものが見つかり、好きなことを楽しめる家



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.009
カムホームストーリー
佐川町・Yさま邸
竣工:2010年4月
設計担当:福井 美絵



見学会が大きな一歩に

お引渡しをして3年半が過ぎたYさま邸は、サイディングの外壁にベランダやウッドデッキ、玄関まわりに木を使ったシンプルデザインの外観。外構の植物たちがお家をより一層引き立てています。もともと家を見ることが好きだという奥さまの目に止まったk+の記事。タイセイホームの見学会が近所であることを知り、「ちょっと行ってみよう」と何気ない気持ちで出かけました。自然素材の家や会社の雰囲気、スタッフを気に入っていただいたことで漠然とした思いが次第にハッキリしたと言います。その後、何度も見学会へ足を運びました。「スタッフさんのあの雰囲気がなかったら見学会には行っていなかった」と振り返る奥さま。家づくりや建てたあとのことまで任せられる信頼性と、タイミングの良さがYさまのお家づくりの後押しとなりました。

好きなことを楽しめるよろこび

家づくりの間もたくさんの見学会へ足を運び、勉強してきたYさま。最初は対面式のキッチンを考えていましたが、明るい外の光を感じながら一人の空間で料理がしたいと考えはじめ、アイランドキッチンのほうが自分に合っていることに気づいたと言います。くると左右から回ることのできる道線の使い勝手に満足していただいている様子。使うたびに味のする無垢材のダイニングテーブルとイスは、後ろの動線を邪魔しない人のYさまご家族にピッタリサイズでオーダー。1日の多く過ごすキッチンは、奥さまにとってストレスフリーの空間が叶いました。今ではそんな奥さまお気に入りのキッチンに友人を招き、以前からしたかったという趣味のパンづくりやお菓子づくりを楽しんでいます。棚を取りつけたり旦那さまの好きな雑貨を飾ったり「家を建てたらね」と諦めてきたことも、今では夫婦で楽しみながら家をアレンジしていると言います。

住んでみて分かること

脱衣室はできるだけ広いほうがいと奥さま。家族みんなが脱いだものを置くスペース、着替えを置くスペースなど、やはり収納も大きなポイントのよう。脱衣室はいちばん来客の視線が気になるため、洗面所と分けることが重要だと言います。タイル貼りをつくったYさま邸の玄関ポーチ。玄関ドアを開けるとドアの長さとお家の奥行きが同じでベビーカーを運ぶときに十分なスペースがないため、段差に注意をする必要があります。今では子どもさんが大きくなってベビーカーを使うことはありませんが、「もう少し広くしておけば良かった」と振り返ります。見学会でたくさんのお家を見て視野を広げると、本当に自分に合ったものが見つかったと実体験をふまえてのお言葉を預かりました。